佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
（大樹生命ビル4F）
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP http://saga-doc.jp
hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料　1部　200円
送料込　年間2,400円
（会員の購読料は会費に含まれています）

協会会員数
医科　663人
歯科　330人
合計　993人
（7月31日現在）

第39回 定期総会

8月22日（土）佐賀市のマリターレ創世にて、佐賀県保険医協会第39回定期総会を開催しました。

梅津健太郎常任理事による開会あいさつで始まり、田中裕幸理事を議長に選出し、物故会員への黙とう後、藤戸好典会長があいさつを行い、その後、藤瀬恭平常任理事による祝電等の披露がありました。

議事に入り、まず藤戸会長による2019年度活動報告がなされ、山口宏和常任理事による2019年度決算報告、上松誠八郎監事による監査報告があり、承認されました。その後、2020年度活動方針案が中山利浩副会長より、2020年度予算案が山口常任理事より提案され採決を行い、可決されました。

次に会費規定改正の承認案が新井良一副会長より提案されました。公設の医療機関の院長（管理者）はこれまで例外として勤務医と同様の会費額としていました。しかし今後はこれを変更し、経過措置を設けた上で公設の医療機関の院長（管理者）も、開業医の会費額とすることが承認されました。

続いて役員改選が行われ理事23人、監事2人の立候補がありました。役員選挙規定により候補者全員が当選されました。当選された役員の一覧は2面にてご確認ください。

改選後に千葉研介常任理事より総会決議案の提案が行われ、採択されました。総会決議は下記の通りです。

また同日に第1回全理事会を開会しました。全理事会では会長選挙が行われ、藤戸好典会長の留任が決定されました。

（事務局）

総会に参加された新役員の先生方

総会決議

いのちと健康のため、社会保障制度を守り発展させよう

一．国民のいのちと健康を守るため、さらなる受診抑制を引き起こしかねない患者負担増計画をやめること。

一．安心して子育てができる環境整備のために、妊産婦の医療費助成の拡充と、子どもの医療費は高校卒業まで窓口負担を無料にすること。

一．難病医療費助成制度における申請・更新時の診断書料を公費で助成し、患者の負担を軽減すること。

一．新型コロナウイルス等の感染症等について、有事の際にも対応できる検査体制の拡充や病床確保など、医療提供体制を確保すること。

一．社会保障の財源は応能負担原則に基づいて確保し、消費税率を5％に引き下げること。医療にはゼロ税率を適用し、消費税損税を解消すること。

一．診療報酬における不合理を是正し、安心・安全な医療・介護を安定して提供できるようにすること。

一．保険でより良い歯科医療を提供するために診療報酬を是正すること。

一．審査、指導、監査において、医学的見地と保険医の裁量と人権を十分に尊重し、医療現場を混乱させることのないようにすること。

一．国民の健康・安全・生命を脅かす原発を再稼働させず、自然・再生可能エネルギーへの政策転換を進めること。

一．九州佐賀国際空港へのオスプレイ配備等の計画は中止すること。

2020年8月22日

佐賀県保険医協会
第39回 定期総会

主な記事

・第185回　保団連　九州ブロック会議……2面
・慰労金・支援金　忘れずに申請しましょう……3面
・2019年度個別指導・新規個別指導結果（佐賀県歯科）……4面
・共済部だより「グループ生命保険」申込・金額変更受付中……6面
・経営税務「災害対策備品の税務上の処理」……8面

第39回定期総会を迎えて

会長　藤戸好典

会員の皆様のご協力により佐賀県保険医協会は第39回定期総会を迎えることができました。しかし新型コロナ感染症の蔓延下のもと、今までとはまったく異なった形での総会を迎える事態を余儀なくされることとなりました。まことに残念ではありますが、記念講演会と会員皆様方との懇親会は今回行うことを断念させていただきました。

多くの医療機関では患者数の減少から深刻な収入減を実感しており、今後の経営に大変な心配を抱え、将来の不安に苛まれているものと存じますが、役員そして事務局員一同大変に気がかりでなりません。協会会員の皆様が知恵を出し協力しあい、最小限の被害損害に食い止めて一日も早い本来の日常を取り戻していきましょう。融資等に関する利用可能な制度は絶対に見逃すことなく最大限に利用していただきたいと思います。

本来なら東京オリンピックのすばらしい祭典を迎え、日本中いや世界中の人々が超一流選手の競技に釘付けになっている時期であったはずでした。そして日本のすばらしいおもてなしの心を世界中からの訪日観光客がしっかりと心に焼き付けて帰国するすばらしい機会になっているはずでありました。しかし現実には世界中で多くの方々が犠牲になり、また自身の生命をも顧みず、一生懸命治療に専念された多くの医療従事者の尊い生命が失われている残念無念な状況となっております。犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。また医療従事者の本来あるべき姿を再認識するとともにこの恐ろしい感染症に対して無力な自身を見つめなおす機会となりました。平凡な日常が実はどれほどに貴重な幸せをもたらしていたのかを皆様もあらためて実感されていることと思います。

多くの国々でワクチンの開発を競っておりますが、一刻でも早く安全で効果の確実なワクチンと治療薬が開発され、世界中の人々の日常が戻ることを心より祈願いたします。

佐賀県保険医協会は発足以来39年間、地域住民のための医療・介護等の社会保障・福祉の充実改善運動とその地域医療・介護等を全力で担っている先生方・医療介護従事者の皆様方の経営・生活向上に向けて、役員・事務局員一丸となって全力で多くの活動に取り組んでまいりました。これからも国民の健康と生命を預かる医師・歯科医師の団体にふさわしい活動を積極的に進めてまいりたいと思っております。今後とも会員の皆様方のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。なお新型コロナ感染症の蔓延状況から協会本来の多くの活動が不可能となりましたことを紙面をお借りしてお詫びいたします。

曙

百家争鳴という言葉がある。元々は「多くの学者が自由に意見を出し合って自由に論争すること」とあるが、昨今のSNS上での膨大な数の意見のやり取りは匿名でも可の事もあり、論じ合うというより誹謗中傷やフェイクニュースの応酬とも言える異常な事態になっているように思える▼日本のみならず、発信する手段によっては世界中の人が閲覧して意見を言い合うのだが、書いた発信者の意図や文面の真偽も受ける側次第での解釈になるため、発信者自らが予想すらできない事態に追い詰められることもあるようだ。自由に意見を言える事は全ての人に与えられた権利であり絶対に守られてしかるべきだが、法があるべきだと考えるがいかがだろうか？▼SNS上でバズったあげく炎上し活動できなくなったり、追い詰められた俳優や歌手などが自殺に追い込まれたり、今回の新型コロナ関係では看護師の子供が学校でいじめにあったり登校拒否になる等の事例があるとの事▼発信者側も受け取る側も、知らないうちに相手を傷つけていることになっていないかを時には検証して欲しいものだ。無責任にシェアやリツイートしたり、誹謗中傷を拡散依頼するのはいまいましい事であり、あってはならない事である▼SNSでの匿名性は、今や自由にものが言えるという利点よりも弊害が多いと考えられるがいかがでしょうか？　できれば匿名性を外すようにする事も考えるべきではないでしょうか。

（鳥栖市　野田　芳隆）